

10インチテレビ搭載ポータブル電源

Wizz

PSTV-600

取扱説明書

目次

使用上の注意	2～3
製品内容	4
各部の名称	4～5

準備する

リモコンを使う	6
リモコンの機能一覧	6
ご使用する前に	7
本体起動方法	8
本体ボタンについて	9

電源部の使用方法

ACアダプタを使う	10
シガーソケットアダプタを使う	10
USB-A端子から充電する	11
USB Type-C端子から充電/給電する	12
LEDライトを使う	12
本体のコンセントを使用する	12

テレビを見る

テレビを見る前に	13
miniB-CASカードを入れる	14
TVアンテナを準備する	15
接続とチャンネル受信	16
基本的な使い方	17
TVボタン操作について	18
TV設定をする	19～20

FMラジオを聴く

ラジオを聴く前に	21
ボタン操作について	21
操作及び表示	22～23

外部メモリーを再生する

USBメモリーの再生	24
USBボタン操作	25～26
本体各種設定	27

外部端子

イヤホンを使用する	28
HDMI端子を使用する	28

その他

主な仕様	29
故障かな?と思ったら	30～31
お手入れについて、製品の廃棄について	32

使用上の注意 正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 本体、電源アダプタ(ACアダプタ、シガーソケットアダプタ)について

	 コンセントを抜く	火災・感電の原因となりますので、本体やACアダプタが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
		火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
		火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 コンセントに挿す	火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	 コンセントを抜く	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ずACアダプタを抜いてください。また、雷が鳴っているときは、本体、ACアダプタに触れないでください。落雷すると感電する恐れがあります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
		本製品を指定された電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
		シガーソケットアダプタは使用の場合、必ずエンジン始動後に接続してください。エンジン始動時に接続していると一時的に高電圧や大電流(サージ電流)が発生する為、故障の原因となります。また本体が異常な時(発煙、熱い、においがする)は、シガーソケットから外してください。
 コンセントを抜く	万が一発煙や発火したら、大量の水で消火して煙が消えるまで本機を大量の水で消火してください。煙が出なくなることを確認してから弊社サポートセンターにご連絡ください。	

		本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
		本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。
		本体を持ち運ぶときは、過度な衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
		ACアダプタを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、ACアダプタを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。ACアダプタが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	本製品を移動させるときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
		リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。
		本機の防塵・防水規格は保護等級 IP44(International Electrotechnical Commission)規格に準ずる本体を水ぶきしたり、雨天、水しぶきがかかる環境下で使用が可能です。浸水または水没、豪雨時での長時間の放置や放水、お風呂場等ではご使用しないでください。

 注意	 禁止	付属品のACアダプタ以外は使用しないでください。 また、付属品のACアダプタを本機以外の機器には使用しないでください。
	 禁止	本機やACアダプタを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
	 禁止	本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。 ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。 高電圧、高電流部品により感電することがあります。
	 分解禁止	分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご相談ください。
	 禁止	直射日光の当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
	 禁止	医療機器や生命に係わる様な機器、社会的、公共的に重要な機器、重要な事業用機器などには、本機を絶対に使用しないでください。

■ 内蔵バッテリーについて

⚠ 注意

 禁止	バッテリーは、高温環境に弱いので、炎天下の車内等の高い温度環境で放置すると故障や不具合の原因となります。
 分解禁止	本体内部にはバッテリーが内蔵されています。分解し水などの液体を入れるのは危険ですので行なわないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 注意	AC アダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。 断続的にACアダプタを製品に接続したままの状態では、バッテリーの満充電が繰り返され、過充電状態となる恐れがあります 長期間にわたる連続使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。 ご使用にならない時は必ずACアダプタを抜いて保管してください。
 注意	バッテリー残量が空の状態での保管しないでください。 長期間にわたって使用しないなど、バッテリー残量が空の状態での保管すると、バッテリーの自然放電が続くことによる過放電状態となる恐れがあります。必ず1年に1度は充電してください。 購入後、満充電にしてください、ご使用にならない場合でも約1年を目安に充電してください。
 注意	過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。 通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、長期にわたって繰り返されることにより、劣化が促進されます。 劣化により充電容量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど、性能が低下しバッテリーとして機能しなくなる場合があります。また劣化などにより不安定な状態になります。

■ 使い方のご注意

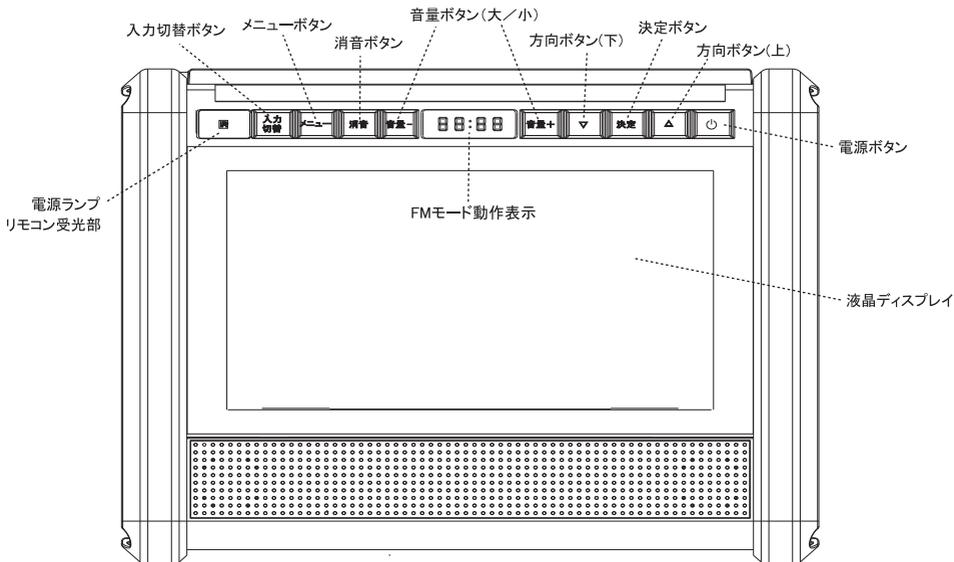
- ・初めてお使いになる時は、本機を満充電にしてからご使用ください。
- ・AC出力に接続した機器の消費電力が本機の供給電力を上回った場合、自動的に給電が停止します。
AC出力をご使用の場合は、満充電にしてからご使用ください。
- ・本機へ接続する一部機器は仕様範囲内でも動作しない、もしくは正常に動作しない場合があります。
この場合は、その機器のご利用はお控えください。
- ・接続機器のケーブルを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ったり折り曲げると断線などの原因となります。
- ・充電または給電中は本機が温かくなります(故障ではありません)ので、周囲には物を置かないでください。
- ・給電する機器の充電制御や充電状況、環境などにより給電できない、または急速充電にならない場合があります。

製品内容

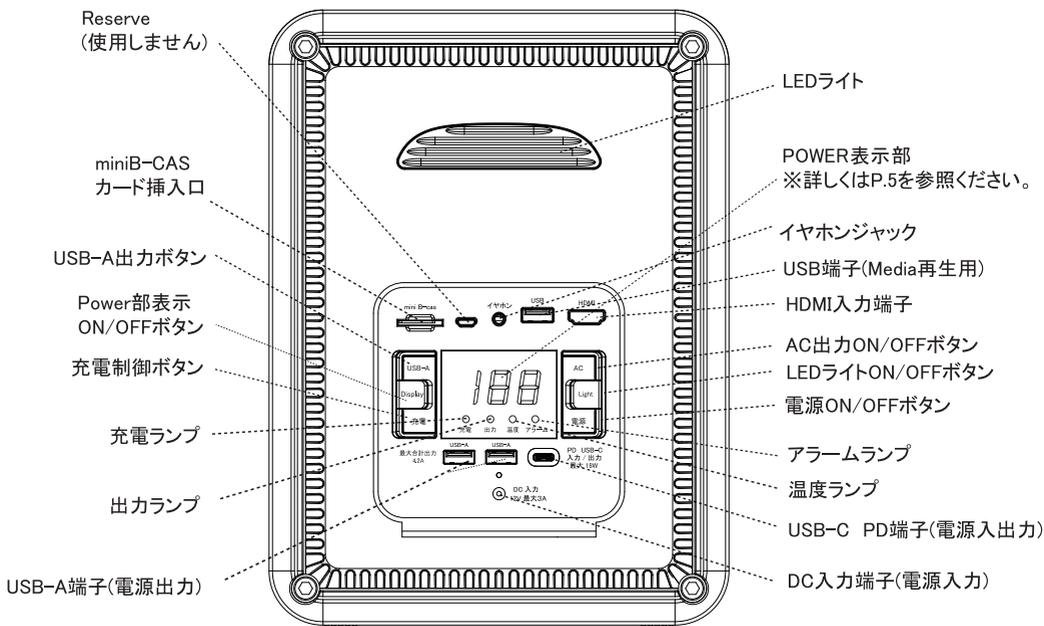
- ・ 本体
- ・ ACアダプタ
- ・ 地上デジタル用ロッドアンテナ
- ・ 地上デジタル専用mini B-CASカード
- ・ リモコン(本機専用)
- ・ 取扱説明書／保証書(本書)
- ・ 単四電池 2本(試供品)
- ・ シガーソケットアダプタ

各部の名称

●本体正面部

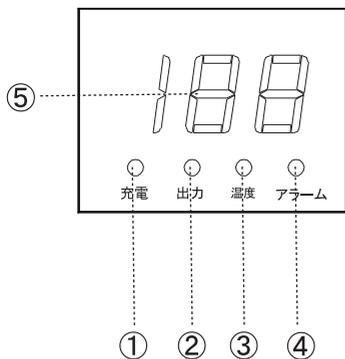


●本体左側面部



各部の名称

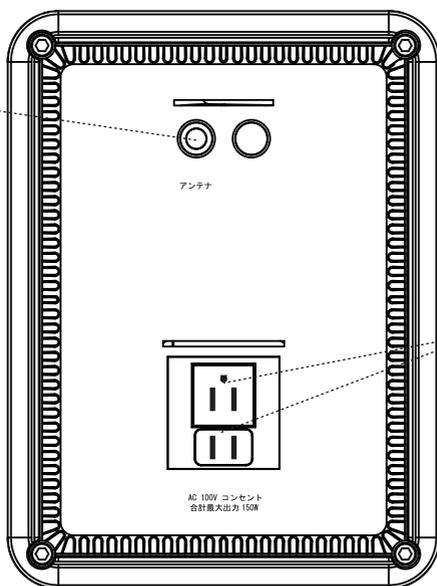
●本体左側面POWER表示部



- ①充電ランプ表示
 - ・バッテリー充電状態時、赤色ランプが点灯します。
 - ・バッテリー満充電状態になると消灯します。
- ②出力ランプ表示
 - ・放電時に緑色ランプが点灯します。
- ③温度ランプ表示
 - ・セット内部の温度上昇時に、オレンジ色ランプが点灯します。
 - ※ご注意ください。
オレンジ色ランプが点灯した場合は、セット内の温度が上昇している状態になっています。そのため、出来るだけ周囲温度が常温に近い場所で使用してください。
- ④アラームランプ表示
 - ・AC出力部の異常発生時に赤色ランプが点灯します。
- ⑤バッテリー容量表示
 - ・バッテリーの容量を表示します。充電時は1桁目が点滅します。

●本体右側面部

ロッドアンテナ
及びTV室内アンテナ
接続口



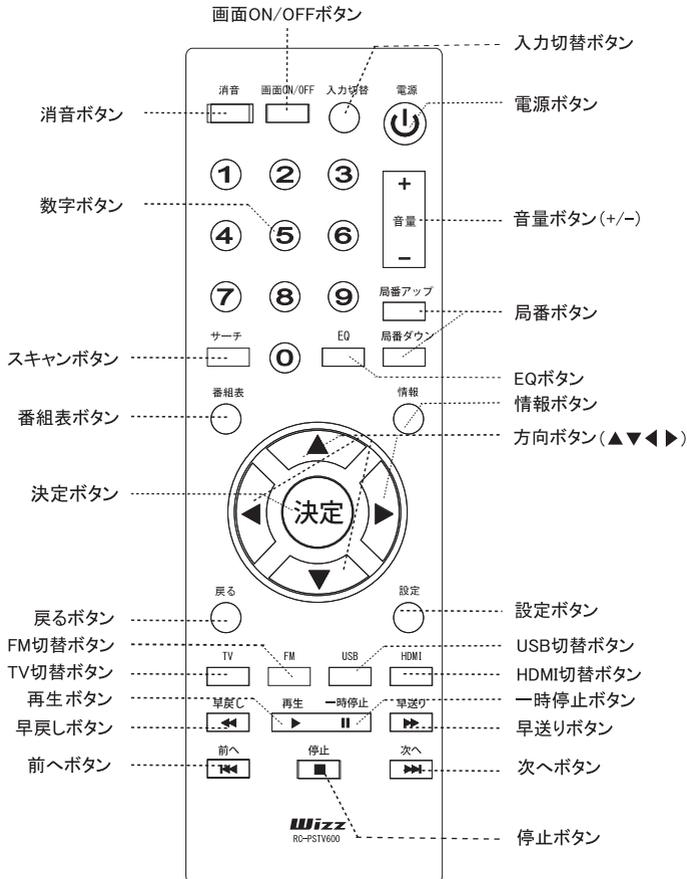
AC機器接続用
コンセント

※接地対応必要機器は
上側のアース付側に接続してください。

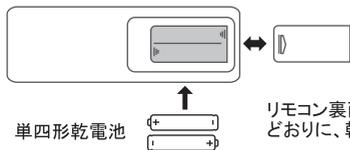
* 本紙記載の内容にしたがい、正しく接続を行って下さい。

準備する

リモコンの機能一覧



リモコンを使う



単四形乾電池

リモコン裏面のカバーを取り外して、単四形乾電池2本を電池収納部の表示どおりに、乾電池の方向を確認して差し込み、カバーを取り付けます。

■ご注意ください

- ・リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- ・本体受光部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受光できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- ・リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管しないでください。
- ・電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- ・リモコンを分解、改造、修理しないでください。

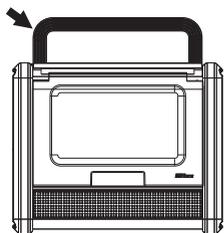
ご使用前に

●ご使用前に

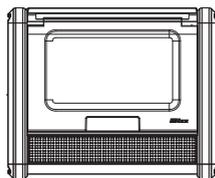
本機を満充電にしてください。長期間ご使用にならない場合でも1年に1度は満充電にしてください。

●ハンドルについて

移動、持ち運びの際には、ハンドルを上げてください。収納、使用時には下げて使用してください。



上げた状態

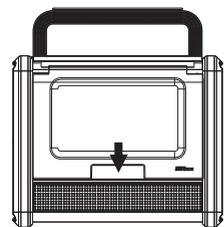


下げた状態

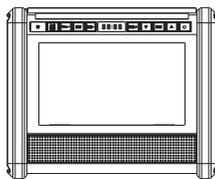
●ディスプレイカバー/端子カバー開閉について

・ディスプレイカバーは、液晶パネルや操作部を保護するものです。

本体TV/FM/HDMI/USBを使用する際は、ディスプレイカバーを開いてご使用ください。



閉じた状態

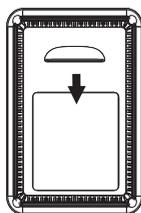


開いた状態

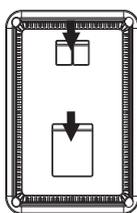
・側面部の端子、または充電をする際は防水カバーを開いて使用してください。

使用しない時は防水カバーを閉じてください。

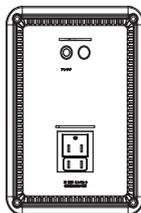
防水機能は側面の端子カバーを閉じた状態の時に有効となります。



防水カバーを閉じた状態



防水カバーを開いた状態



●スタンドについて

本体下部に収納可能なスタンドがあります。設置時に角度を調整し視聴することが出来ます。平らな場所に設置してください。設置場所が平らではない場合、セットが倒れることがあるのでご注意ください。

使用例

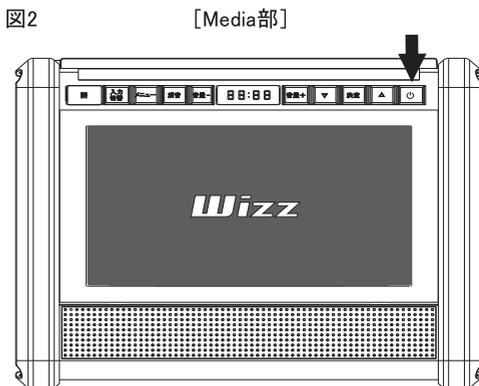
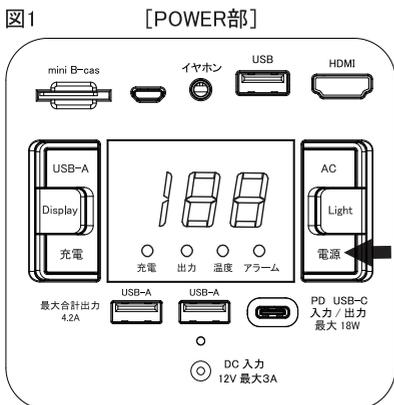


■ご注意ください

本機の防塵・防水規格は保護等級 IP44(InterNational Electrotechnical Commission)規格に準ずる。本体を水ぶきしたり、雨天、水しぶきがかかる環境下で使用が可能です。浸水または水没、豪雨時での長時間の放置や放水、お風呂場等ではご使用しないでください。

本体起動方法

1. 本体を起動する。



①POWER部の電源をONする

図1の電源ON/OFFボタンを2秒程度長押ししてください。POWER部の表示が点灯します。その次に図2の電源ボタンを押してください。

メイン画面に「WIZZ」が表示され、起動します。本体正面側の電源ランプが緑点灯します。

※POWER部の電源がONになっていないとMedia部の電源を入れることができません。

②電源をOFFする

図2の電源ボタンを押すと画面の表示が消えます。その後、図1の電源ボタンを2秒程度長押ししてください。POWER部の表示がOFFになります。

※リモコンの場合、本体が起動しているとき操作ができます。

リモコンを本体の受光部に向けて、リモコンの「電源」ボタンを押すと、本体がスタンバイ状態になり、電源ランプが赤点灯します。

※本体がスタンバイ状態の時、リモコンの「電源」ボタンを再度押すか、Media部の「電源」ボタンを押すと、再度起動します。

2. 本体を充電する。

本体のDC 入力に専用ACアダプタを差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。

充電時はPOWER部の充電ランプが赤色ランプに点灯します。バッテリー容量が少しずつカウントアップします。

充電時は表示の1桁目が点滅します。大容量バッテリー搭載の為、満充電までには約10時間程度かかります。

■ご注意ください

- ・本製品を持ち運ぶときは、画面の破損を防ぐために画面カバーを開けてください。
- ・画面カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。
- ・しばらく使用しない場合は、POWER部の電源をお切りください。
- ・表示画面に「C2」(低温)、「C3」(高温)が表示された場合は、常温に近い環境で再度充電してください。低温や高温環境では、バッテリーを保護する目的で動作を制限しています。

本体ボタンについて

●本体正面部(Media部) ※ボタンの位置はP.4を参照してください。



・入力切替ボタン
各種再生モードへ切替をします。



・メニューボタン
本機の各種メニューを表示します。



・消音ボタン
音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。



・音量-ボタン
音量を小さく調整します。



・音量+ボタン
音量を大きく調整します。



・方向ボタン
カーソルを下へ移動します。



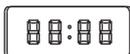
・決定ボタン
選択された項目を決定します。



・方向ボタン
カーソルを上へ移動します。

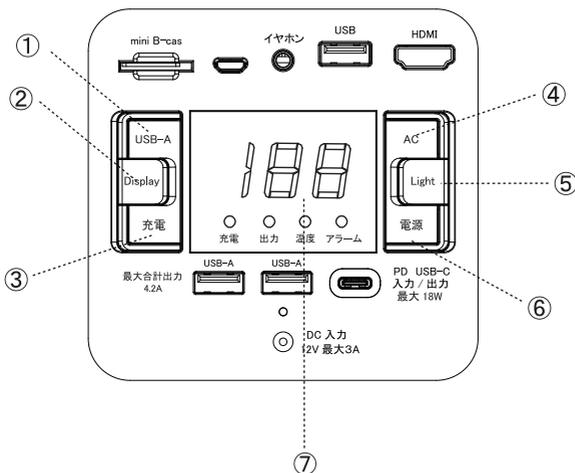


・電源ボタン
Media部を起動する事が出来ます。



・FMモード動作表示
FM動作時に受信周波数等を表示します。

●本体左側面部(Power部)



- ①USB-A出力ON/OFFボタン *出力時緑色点灯
- ②Display表示ON/OFFボタン:本体左側のバッテリー残容量表示等を点灯、消灯します。
- ③充電ON/OFFボタン
 - ・緑色点灯:本体に充電しない。
 - ・消灯:本体に充電する。※本体がON状態の時に、2秒長押しすることにより、状態が変わります。
- ④AC出力ON/OFFボタン *出力時緑色点灯
- ⑤LEDライトON/OFFボタン
- ⑥電源ボタン *電源ON時緑色点灯
※2秒間長押しすることにより、ON/OFFの動作を行います。
- ⑦表示画面:バッテリーの残容量等を表示します。

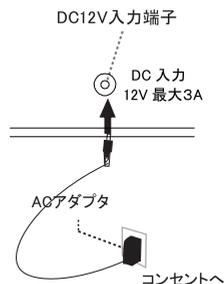
ACアダプタを使う

●付属品のACアダプタで充電を行います。

- ①本体のDC12V入力端子にACアダプタを接続します。
- ②ACアダプタをコンセントに接続します。通電するとDC12V入力端子の上部に、赤色ランプが点灯します。

■ご注意ください

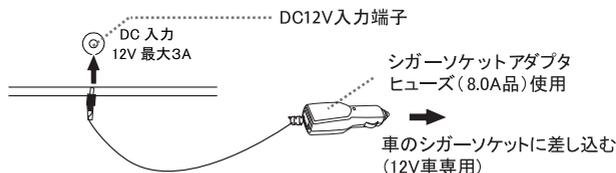
- ・ 付属品以外のACアダプタを使用した場合、故障や破損の原因となります。
- ・ 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 本体のDC12V入力端子に差したまま過度に衝撃を加えると破損する可能性があります。



シガーソケットアダプタを使う

●付属品のシガーソケットアダプタで充電を行います。

- ①シガーソケットアダプタを接続します。
- ②シガーソケットアダプタを車のシガーソケットに接続します。

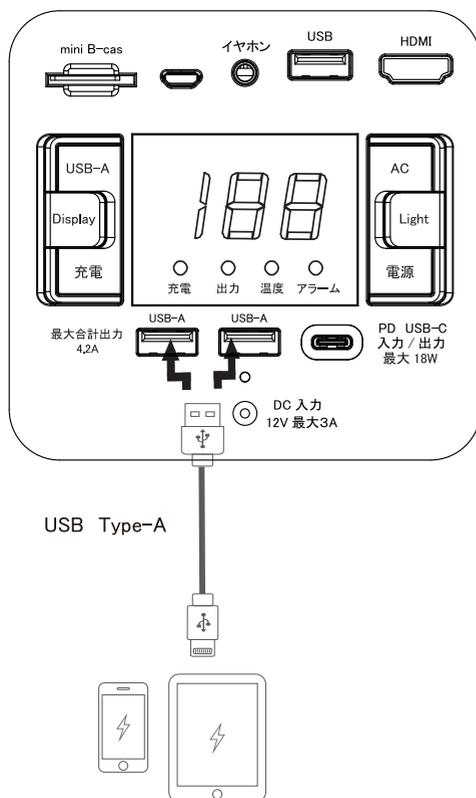


■ご注意ください

- ・ 本製品を運転中に使用しないでください。事故の原因となります。
- ・ 車内に本体やアダプタを放置しないでください。特に高温になると内蔵バッテリーの状態に影響します。
- ・ エンジン始動後に、シガーソケットアダプタを接続してください。
- ・ 本機は24V車には対応していません。故障となりますので12V車でご使用ください。

USB-A端子から充電する

- ①市販の充電ケーブルを準備し、本体“USB-A”端子に接続します。
- ②“USB-A”ボタンを押すと緑色に点灯し、USB端子から給電します。
※2つの“USB-A”端子から、同時に充電することができます。
- ③充電終了後、ボタンをOFFにして本体と充電ケーブルの接続を外します。
- ④供給できる電流は2つのUSBポート合わせて、最大4.2Aです。



■ご注意ください

- USBを接続するケーブルは付属していません。ご使用になる機器に合わせて準備してください。
- 接続機器の充電が完了したらケーブルを取り外してください。

USB Type-C端子から充電/給電する

1、本機を充電する

本機は急速充電Power Delivery(PD) 18Wに対応しています。

USB Type-Cのケーブルを本機の左側面部にある「USB-C」端子に接続します。

他のACアダプタに接続すると本機の充電が開始します。

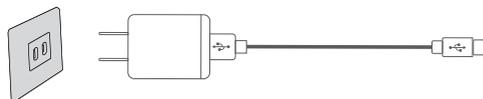
2、スマホやタブレットなどを充電する

USB-C 端子に接続します。

接続した機器への充電が始まります。

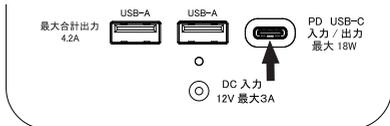
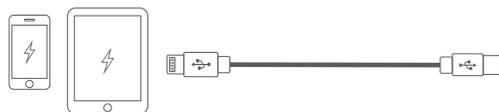
使用するケーブルと機器により急速充電が可能です。

・本機を充電する場合



・DC入力からの充電とUSB Type-C充電を両方接続した場合、先に接続されている方の充電が優先されます。

・スマホやタブレットなどに充電する場合

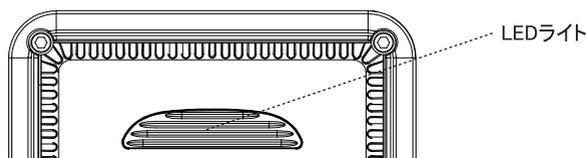


■ご注意ください

- ・急速充電を行う場合は、PD対応のType-Cケーブルをご使用ください。

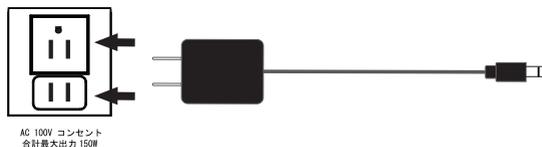
LEDライトを使う

LEDライトボタンを押すと、本体のLEDライトが点灯します。



本体のコンセントを使用する

- ① 本体を安定した場所に置き、右側面部にコンセント挿入します。
- ② Power部ACボタンを押すと緑色に点灯して使用できます。(AC100V/50Hz)最大150W
- ③ 使用しないときは、ACボタンをOFFにしてください。



■ご注意ください

- ・FMやTV視聴時にコンセントを使用すると受信状況によりノイズが生じることがあります。
 - ・50Hzでの出力となりますので、60Hz専用の機器はご使用できません。
 - ・接続される機器の負荷状況により、AC出力時間が変わります。
- また、過負荷、過電流、短絡が発生すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・本体内部の温度調整の為、内蔵FANが作動する場合があります。

テレビを見る前に

以下の項目にて、地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについてご案内いたします。

●本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。
(地上アナログ放送・BS・110度CSデジタル放送を受信することは出来ません。)
屋内での使用時は、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して
高画質のデジタル放送、ワンセグ放送のテレビ番組が楽しめます。

●地上デジタル放送の特徴

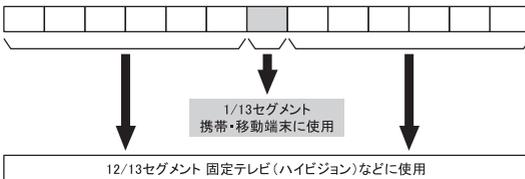
地上波のUHF放送(13ch～62ch)の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術によりハイビジョン放送(高画質)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。
また、音声信号を効率よく圧縮しての放送が可能で、原音に近い高音質な音声楽しめます。
(本機ではデジタル放送の一部サービスに対応していません。)

■ご注意ください

- 安定した地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続や利用方法は、機器や会社ごとに異なります。ご加入のCATV会社にお問い合わせ下さい。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
- また、本機でペイ・パー・ビュー(PPV)番組を購入する事は出来ません。
- 本機は地上デジタル放送のデータ放送には対応していません。
- 本機は緊急警報放送には対応していません。

●ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



- 受信状況…… 地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できる。
- 画質……… 携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
- 受信地域…… 広範囲で受信出来るようになりました。

- ワンセグ放送は、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により受信可能なエリアが拡大されました。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
- ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>

miniB-CASカードを入れる

本機に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。miniB-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。miniB-CASの登録の仕方や取扱いに関する詳細は、カードが貼ってある説明書を確認下さい。説明書は、内容をよく確認のうえ、大切に保管してください。

■ご注意ください

- miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外を入れないで下さい。故障や破損の原因になります。
- 使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないで下さい。

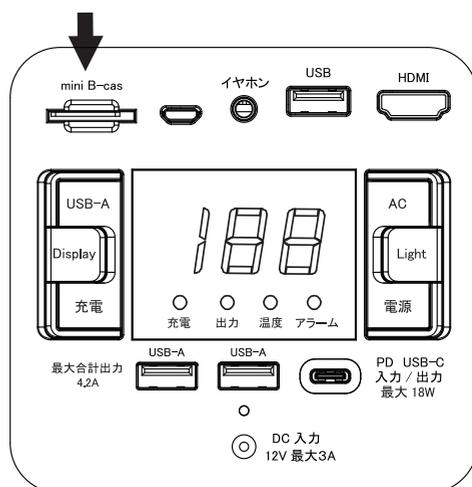
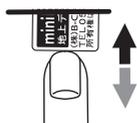
■カード破損・紛失・盗難など

- miniB-CASカードのカード破損・紛失・盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡下さい。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

- 本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CASカードの表面側を上にして下記の内容で「カチッ」と音がするまで奥へ差し込みます。



- 取り出す時は中央部を一旦押し込み、出た端をつまんでゆっくり抜きます



TV受信アンテナを準備する

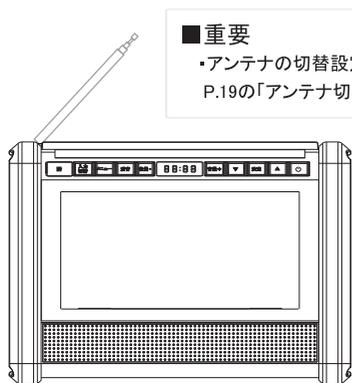
テレビ放送を視聴するときは、B-CASカードを本機に差し込み後、アンテナを以下の内容で準備します。

●本体アンテナを使用する場合

- ・メニューの「アンテナ切替」から「本体アンテナ」に設定します。
- ・本製品上部にあるアンテナを伸ばして使用します。
- ・アンテナを伸ばすときは、電波状況に応じて、長さや方向を調整してご使用ください。

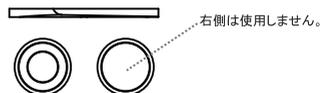
●付属のロッドアンテナ、もしくは室内アンテナを使用する場合、右側の上の防水カバーを開いて、アンテナを接続します。

- ・メニューの「アンテナ切替」から「付属外部アンテナ」に設定します。
- ・室内アンテナを接続する場合は、アンテナ端子へ接続してください。



■重要

- ・アンテナの切替設定はP.19の「アンテナ切替する」を参考にしてください。

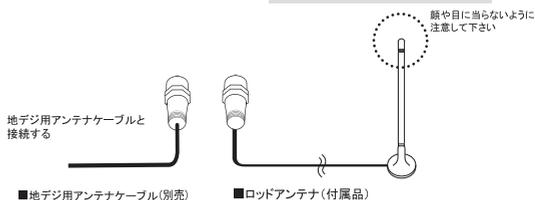


アンテナ



室内のアンテナ端子などを使う場合
(地上デジタル放送受信時)

付属のロッドアンテナを使う場合
(地上デジタル/ワンセグ放送受信時)



■ご注意ください

- ・アンテナの設定と接続状況が合っていない場合、正常にTV放送を受信出来ません。(P.19参照)

■お知らせ

- ・地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。
- ・アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となる事があります。
- ・地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴で伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせ下さい。

接続とチャンネル受信

本機を使用する場合は以下の接続とチャンネル受信を行う必要があります。



●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

- ①電源プラグが正しく接続されていること
- ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③miniB-CASカードが正しく挿入されていること



本製品に同梱されているロッドアンテナは野外用の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナとの接続の上、設定・登録することをお勧めします。(本機とアンテナとの接続方法はP.15をご参照ください)



*電源を入れるとシステム起動中(左図)の表示後、チャンネル自動検索の開始となります。チャンネル自動検索の開始後、スキャン終了までお待ちください。



チャンネル受信成功/登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ/ワンセグの項目にチャンネルが登録されていきます。

本機に番組が登録された場合



※チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

番組登録が失敗した場合

サービスなし

※設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、「サービスなし」の表示になります。下記をご確認の上、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルスキャンを行ってください。

- ※本機に正しくB-CASカードが挿入されていますか？
- ※本機と接続しているアンテナが正しく接続されていますか？
- ※アンテナ設置位置などをご確認ください。

■お知らせ

- 受信環境が悪かったり、スキャン中に移動したりすると信号を受信出来ない場合があります。
- 遠隔地への移動を行ったり、受信環境の変化でスムーズに受信できない場合は再度受信環境の良い場所で「チャンネルスキャン」を行ってください。

基本的な使い方

地デジ放送を選ぶ

- 他モードから地デジ放送に切り替える時は、本体またはリモコンの「入力切替」ボタンを押し、入力ソース「TV」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。
 - リモコンの「FM」「USB」「HDMI」ボタンで各モードへ切替をすることができます。
- ※「機能切替」：<TV> ▲▼<HDMI> ▲▼<USB> ▲▼<FM>

視聴チャンネルを選局する

- リモコンの「選局アップ/ダウン」ボタンまたは本体の「方向」ボタンを押すとスキャンで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。
 - リモコンの「数字」ボタンを押すと指定したチャンネル(主番号)に切り替わります。
 - 番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。(チャンネルリスト表示)
「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し「決定」を押すと選択した番組に切り替わります。
- ※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ/ワンセグ放送の選択ができます。
- リモコンの「番組表」ボタンで現在表示しているチャンネルの番組表を確認することができます。
 - リモコンの「情報」ボタンまたは本体の「決定」ボタンで現在表示しているチャンネルの詳細を確認することができます。

音量を調節する/消す(消音機能)

- 調節する：リモコンまたは本体の「音量+」「音量-」ボタンで音量を調節します。
- 消音する：リモコンまたは本体の「消音」ボタンを押すと消音状態に切り替わります。
消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

その他

- 画面ON/OFFボタン操作：画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。
- EQボタン操作：音声イコライザを選択することが可能です。

■ ご注意ください

操作を立て続けに行なうと、誤作動したりフリーズする場合があります。
その場合は一度、本体電源をOFFにして再起動してください。

<設定しても放送が正しく映らない場合>

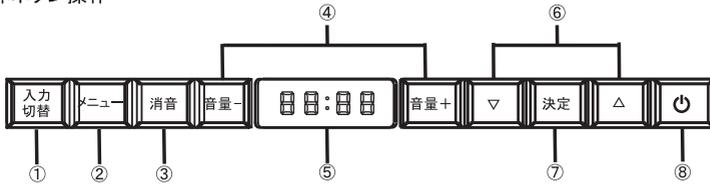
初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。
「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下の点についてご確認ください。

デジタル放送の受信方法の確認 <放送チャンネルが登録されない...>

- 野外アンテナの場合：
アンテナが地上デジタル放送受信対応のUHFアンテナ、またはVHF/UHF混合アンテナであるかどうかをご確認ください。(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)
- ケーブルテレビの場合：
地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送(CATV)やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約のCATV会社や共聴システムの管理者にご確認ください。
- 本体アンテナ及び付属ロッドアンテナ
付属ロッドアンテナの接続が奥まで正しく接続されていることを確認してください。
P.19の「アンテナ切替する」の設定を正しく行うようにしてください。
設定と接続が正しくないと、正確に受信出来ません。
またできるだけ電波が良好な場所で受信してください。

TVボタン操作について

● 本体ボタン操作



- ①入力切替ボタン:各モードからTVモードへ移行します。
- ②メニューボタン:TVに関するメニューが表示されます。 ※詳しくはP.19～20を参照ください。
- ③消音ボタン:音声を消します。
- ④音量+/-ボタン:音量を調整します。
- ⑤FMモード動作表示:FM受信している周波数等を表示します。
- ⑥方向ボタン(上)(下):スキャンで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。
- ⑦決定ボタン:チャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。
- ⑧電源ボタン:電源ON/OFF操作を行うことが可能です。

● リモコンによる操作

- ・消音ボタン:音声を消します。



- ・画面ON/OFFボタン:画面を消します。
もう一度押すと元に戻ります。



- ・入力切替ボタン:各モードへ移行します。



- ・数字ボタン:TV視聴したいチャンネルをダイレクトに選択します。



- ・選局UP/DOWN:スキャンで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。



- ・スキャンボタン:自動スキャンを行います。



- ・音量+/-ボタン:音量を調整します。



- ・十字ボタン/決定ボタン



- ▲▼→スキャンで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。
決定ボタン→チャンネルリストを表示します。

- ・EQボタン:音声イコライザを選択することが可能です。



- ・番組表ボタン:現在表示しているチャンネルの番組表を確認することができます。



- ・情報ボタン:現在表示しているチャンネルの詳細を確認することができます。



- ・戻るボタン:1つ前に戻ります。



- ・設定ボタン:TVに関するメニューが表示されます。
※詳しくはP.19～20を参照ください。



- ・FM切替ボタン:FMモードに移行します。



- ・USB切替ボタン:USBモードに移行します。



- ・HDMI切替ボタン:HDMIモードに移行します。



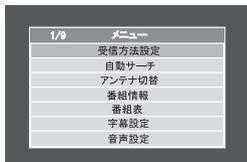
TV設定をする

・「設定」ボタンを押すとTVに関する設定のメニューが表示されます。

① 受信方法設定

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切替える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所では、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り替わります。

このような場合は設定メニューから受信切替を行い、ワンセグ受信に固定することができます。



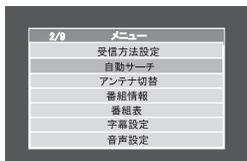
●フルセグ:フルセグ受信に固定されます。
受信状況が良い場合、フルセグ受信が可能です。

●ワンセグ:ワンセグ受信に固定されます。
受信状況が悪い場合、この設定をお勧めします。

●自動 受信状況により、フルセグワンセグの受信切り換えを自動で行います。
※表示画面と受信状態を確認しながら、この設定を選択してください。

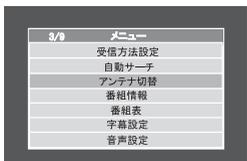


② チャンネルスキャンする



▼▲上下ボタンで、「自動サーチ」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

③ アンテナ切替する



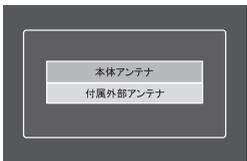
▼▲上下ボタンで「アンテナ切替」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

設定項目

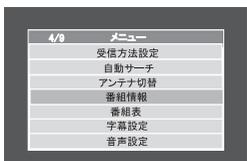
- ・本体アンテナ 本体のアンテナを使用するときに選びます。
- ・付属外部アンテナ 付属ロッドアンテナ等を使用するときに選びます。
※右側面に接続された付属ロッドアンテナや室内TVケーブル

■ご注意ください

本設定とアンテナの接続を正しく行わないと、正確に受信できません。
初期値は本体アンテナに設定されています。



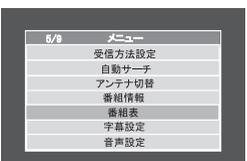
④ 番組情報



▼▲上下ボタンで「番組情報」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

テレビ視聴中に「番組情報」を押すと、見ている視聴中の番組情報等の情報が表示されます。

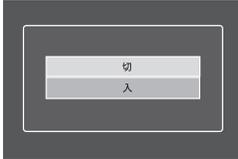
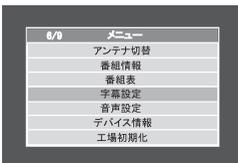
⑤ 番組表



▼▲上下ボタンで「番組表」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

テレビ視聴中に「番組表」を押すと、見ているチャンネルの番組表を表示します。

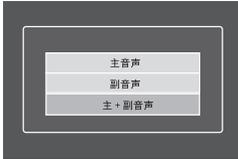
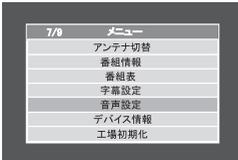
⑥ 字幕設定



▼▲上下ボタンで「字幕設定」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

字幕がある番組の場合に、字幕の表示/非表示を切り替えます。

⑦ 音声設定



▼▲上下ボタンで「音声設定」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。

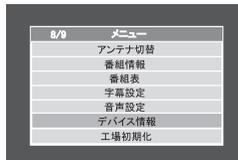
- ・主音声
- ・副音声
- ・主+副音声

■ご注意ください

放送されている音声に合わせて設定してください。

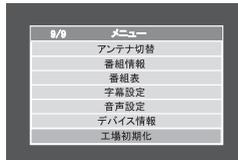
正確に設定されていない場合、音声が出力されない場合があります。

⑧ デバイス情報



▼▲TVデバイスの情報を表示します。

⑨ TV設定を初期化する



▼▲上下ボタンで「工場初期化」を選択しLOK(決定)ボタンで

設定すると初期化画面が表示されTVに関する設定を初期化することができます。

FMラジオを聴く前に

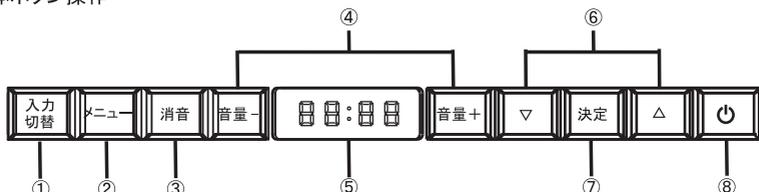
最初に受信可能なFM放送をスキャンして、本機に登録を行います。
アンテナを伸ばし、できるだけよく聞こえる方向に向けてください。

■ご注意ください

- ・FMアンテナを取り扱う場合は無理に曲げたり、収納しないでください。アンテナが破損する可能性があります。
- ・近くに置いているテレビの画面に影響したり、本機のラジオにテレビやパソコンからの雑音が入る場合は本機をテレビやパソコンから離してご使用ください。
- ・保管や持ち運びの時はアンテナを本体に収納してください。FMアンテナを伸ばした状態で持ち運び、アンテナ負荷が掛かると故障の原因となります。
- ・ビルの谷間、鉄筋住宅等はFM電波受信レベルに影響が出ますのでご注意ください。

ボタン操作について

●本体ボタン操作



- ①入力切替ボタン: ボタンを押すとモード切替ができます。FMモード時に本ボタンを押すと前のモードに移行します。
- ②メニューボタン:自動スキャンを行います。中央の表示が変化し、スキャンを行います。
- ③消音ボタン:音声を消します。
- ④音量+/-ボタン:音量を調整します。
- ⑤FMモード動作表示:現在放送している周波数を表示します。
- ⑥方向ボタン:▲選局アップ、▼選局ダウン
- ⑦決定ボタン:方向ボタンを押して、手動で±0.1MHz毎に、▲▼キーを用いて周波数を調整することが出来ます。
- ⑧電源ボタン:電源ON/OFF操作を行うことが可能です。

●リモコンによる操作

- ・消音ボタン:音声を消します。



- ・入力切替ボタン:前のモードへ戻ります。



- ・数字ボタン:登録されているチャンネルを① ② ③ ダイレクトに入力します。



- ・選局UP/DOWN:登録チャンネルの選局をします。



- ・スキャンボタン:自動スキャンを行います。



- ・音量+/-ボタン:本機から出力する音量を調整します。



- ・十字ボタン/決定ボタン



- ・▲▼→スキャンをしたチャンネルの選局をします。

決定ボタンを押した後に▲▼を押すと周波数を0.1MHz毎に調整できます。

- ・TV切替ボタン:TVモードに移行します。



- ・USB切替ボタン:USBモードに移行します。



- ・HDMI切替ボタン:HDMIモードに移行します。



●ワイドFM対応

本機対応周波数は、超短波放送の周波数帯域「76:00MHz～95:00MHz」になっております。
日本国内に置いて、電波法並びに放送法の規定により超短波放送を行っている日本のラジオ放送局(いわゆるFMラジオ局)に対応し、「ワイドFM」にも対応しています。

操作及び表示

● FMラジオ起動

本体の「入力切替」ボタン及びリモコンの「FM」ボタンで、FMラジオモードに移行します。
本体のFMラジオ表示に現在の周波数が表示されます。

76:00

- ① 初期状態及び選局できなかった場合、「76:00」が表示されます。
- ② 次のFMラジオ起動時は、前回受信していた放送局が選局されます。

■ご注意ください

- ・FMラジオモードに移行すると本体の画面が暗くなります。
これは、本機的设计仕様であり故障ではありません。
- ・本体アンテナでFM放送を受信しますので、本体アンテナを伸ばして出来るだけ電波環境の良い場所でご使用ください。

● 選局

本体の「メニュー」ボタン及びリモコンの「サーチ」ボタンでFMラジオ局を自動スキャンし、局番振り付けし保存します。

- ① 周波数76:00から95:00MHzまで0.1MHzずつスキャンして行きます。
- ② 受信可能周波数は順番に局番登録されます。

「CH01」->「CH02」.....

CH 01

- ③ 局番登録後、FM放送を受信します。最初に登録されたFM放送局が選定され、その周波数を表示します。

● 局番選択

本体の「方向」ボタン及びリモコンの「局番アップと局番ダウン」ボタンを操作することによって、選局できます。
以下一例ですので、ご参照ください。

局番アップ

局番 CH 01 から CH 02 にアップ

局番ダウン

局番 CH 03 から CH 02 にダウン

リモコンの「数字」ボタンを押すと、ダイレクトに局番を選択できます。

例：数字ボタン「2」の場合（局番2が周波数80:00MHz時）

02 から 80:00 を表示します。

● 周波数手動調整

本体の場合、「決定」ボタンを押し、「方向」ボタンで周波数の調整が可能です。
リモコンの「周波数アップと周波数ダウン」ボタンで周波数を0.1MHzごとに調整が可能です。
以下一例として、ご参照ください。手動調整の場合は、表示が点滅します。
再度「決定」ボタンを押すと、周波数手動調整モードが解除します。

周波数アップ

周波数 78:00 から 78:10 にアップ

周波数ダウン

周波数 78:20 から 78:10 にダウン

*システムの関係上最下桁の表示は常に“0”を表示しています。

● 音量調整

本体及びリモコンの「音量アップと音量ダウン」ボタンで、音量の調整を行うことが可能です。

U 15 例 現在設定音量「U 15」のように表示されます。調整範囲「0～20」です

本体及びリモコンの「消音」ボタンの操作でラジオの音を消します。もう一回押すと出力されます。

● スタンバイ（待機）

リモコンの「電源」ボタンで、スタンバイ状態に移行することが可能です。

外部メモリーを再生する

USBメモリーの再生

USBメモリー端子にUSBメモリーを接続し、入力切替ボタンにてUSBを選択します。

- 再生可能なファイル形式：
- * 静止画（拡張子）：JPEG(.jpg)/BMP(.bmp)
 - * 音楽（拡張子）：MP3(.mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aac など)
 - * 動画（拡張子）：MP4(.mp4)/MPEG-PS(.mpeg.mpg)/WMV(.wmv)/3GP(.3gp)

⚠ 注意 ※上記ファイル形式でも高画質(高解像度)データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない/再生音が出力されない/読み込みできないなどが起こる場合があります。
※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。

⚠ 注意 ■本機と接続して使用される外部メモリーのファイルシステム形式にご注意ください。
※本機で使用可能な外部メモリー(USB)は<FAT32形式>でフォーマットされたメモリー<FAT16形式>や<exFAT形式>のメモリーは使用できません。

⚠ 注意 ※外部メディア(USBメモリーやHDDなど)はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

メモリー内のデータを再生する

- ① 本機のUSB端子にUSBメモリーを接続します。
右図の矢印の箇所にはUSBメモリーを接続してください。
- ② 本体またはリモコン「入力切替」でモードを切り替えます。
- ③ USBモードに画面を切り替えた後、
「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「決定」を押します。

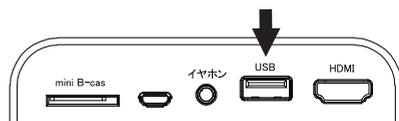
写真:静止画ファイル再生

音楽:音楽ファイル再生

動画:動画ファイル再生

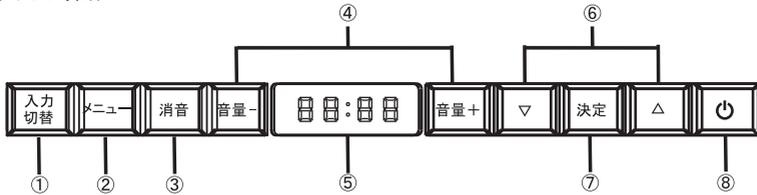
- ④ 再生する項目を選択後「決定」を押すとデバイス項目に移動します。
(*選択項目:一つ前へ / [C])
[C]を選択して「決定」を押すと読み込可能なデータ(またはフォルダ)が表示されます。
- ⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「決定」を押すと画面が切り替わり、再生がスタートします。
*再生を停止する場合は「停止(■)」ボタンを押してください。

下部のUSB-Aは充電ポートですので下部の2つのポートに接続しても、再生が出来ません。



USBメモリーボタン操作

● 本体ボタン操作



- ①入力切替ボタン:ボタンを押すとモード切替ができます。
- ②メニューボタン:本体各種設定のメニューが表示されます。 ※詳しくはP.27を参照ください。
- ③消音ボタン:音声を消します。
- ④音量+/-ボタン:音量+, 右にカーソルを移動します。音量-, 左にカーソルを移動します。
- ⑤FMモード動作表示:USBモードでは使用しません。
- ⑥方向ボタン:▽下にカーソルを移動します。△上にカーソルを移動します
- ⑦決定ボタン:項目を決定する時に使用します。
- ⑧電源ボタン:電源ON/OFF操作を行うことが可能です。

● リモコンによる操作

- 消音ボタン:音声を消します。

- 画面ON/OFFボタン:画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。

- 入力切替ボタン:各モードへ移行します。

- 音量+/-ボタン:本機から出力する音量を調整します。

- 十字ボタン/決定ボタン
 ▲▼◀▶→上下左右にカーソルを移動します。決定ボタン→項目を決定する時に使用します。
- 設定ボタン:本体設定に関するメニューが表示されます。 ※詳しくはP.27を参照ください。

- TV切替ボタン:TVモードに移行します。

- FM切替ボタン:FMモードに移行します。

- HDMI切替ボタン:HDMIモードに移行します。

- 早戻しボタン:音声、動画を早戻し再生します。

- 再生ボタン:選択したファイルを再生します。

- 一時停止ボタン:選択したファイルを一時停止します。

- 早送りボタン:音声、動画を早送り再生します。

- 前へボタン:前のチャプターやトラックへ移動します。

- 停止ボタン:再生を停止します。

- 次へボタン:次のチャプターやトラックへ移動します。


データ再生時の操作 <操作バー>

各ファイルを再生中にリモコンの「決定ボタン」を押すと下記のメニュー操作を行うことが可能です。

<静止画ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↻
- 🎵 ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- 🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音乐の有無を選択
- 📄 プレイリスト: 静止画(画像)ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🔄 90度右回転: 画像を90度右へ回転
- 🔄 90度左回転: 画像を90度左へ回転
- 🔍 拡大ズーム: 最大8倍拡大表示
- 🔍 縮小ズーム: 最小1/4倍縮小表示
- 🏠 ※Move View (※本機では使いません)
- ⚙️ 画面表示切替:【決定】を押すごとに切り替わり変更 ※標準/ランダム/ブロック/対角/ワイプ/スライド/フェード

<音楽ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止
- ◀◀ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↻
- ▶▶ 早送り (=【早送り】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↻
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↻
- AB A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
※セットなし → 【決定】: A 地点セット → 【決定】: B 地点セット&リピート設定 → セットなし ↻
- 🎵 ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- 🔇 消音ミュート設定 (=【消音】)
- 📄 プレイリスト: 音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定

<動画ファイル再生>



- ▶(II) 再生/一時停止
- ◀◀ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↻
- ▶▶ 早送り (=【早送り】) ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ↻
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- リピート再生設定 (=【リピート】) ※<None>: 無 → <1>: 1ファイルリピート → <ALL>: 全ファイルリピート ↻
- 🎵 ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- AB A to B リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
※セットなし → 【決定】: A 地点セット → 【決定】: B 地点セット&リピート設定 → セットなし ↻
- 📄 プレイリスト: 動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 📄 インフォメーション: 再生中データの情報表示
- ▶ スロー再生: 【決定】を押すごとにスロー再生&倍速切換え ※再生 / x2 / x4 / x8 / x16 ↻
- ▶▶ ステップ再生: 【決定】を押すごとにコマ送り再生
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定
- ⚙️ 画面表示サイズ切替: 【決定】を押すごとに表示サイズ変更 ※自動 / 16:9 / 4:3 ↻

本体各種設定

リモコン、または本体の「設定」ボタンを押すと下記画面が表示され各種設定が可能です。
TVモードで行う場合は、入力切替ボタンにて、入力切替画面を表示させている時に設定ボタンを押すと、本設定画面を表示することが出来ます。

▲▼上下ボタンで「画面設定」「音声設定」「基本設定」を選択し各種設定を行います。

●設定画面



■画面設定：映像モード（標準 / ソフト / ユーザー / ダイナミック）
コントラスト比（0 ～ 100）
明るさ（0 ～ 100）
色彩（0 ～ 100）
シャープネス（0 ～ 100）
色温（標準 / ウォーム / ユーザー / クール色）
画面サイズ（16.9 / 自動 / 4:3）



■音声設定：音声設定（標準 / 音楽 / 動画 / スポーツ / ユーザー）
高音（0 ～ 100）
低音（0 ～ 100）
バランス（-50 ～ +50）
自動音量（オフ / オン）
サラウンドサウンド（オフ / サラウンド）



■基本設定：工場初期化（はい / いいえ）※全ての設定が初期に戻ります。
メニュー表示時間（オフ / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒）

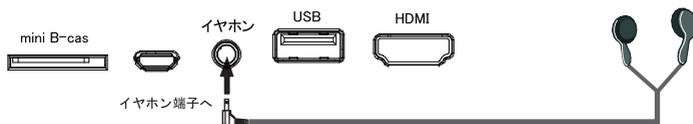
■ご注意ください。

- 各種項目に対して水色のカーソルがある項目が選択されている項目です。設定項目を確定する場合は決定ボタンを押してください。
- TVモード時は、入力切替ボタンを押して本体の場合メニューボタン、リモコンの場合設定ボタンを押してください。本体設定画面が表示されます。

イヤホン(別売)を使用する

●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。
イヤホンジャックに差し込むと本体スピーカーからの出力が消音となります。

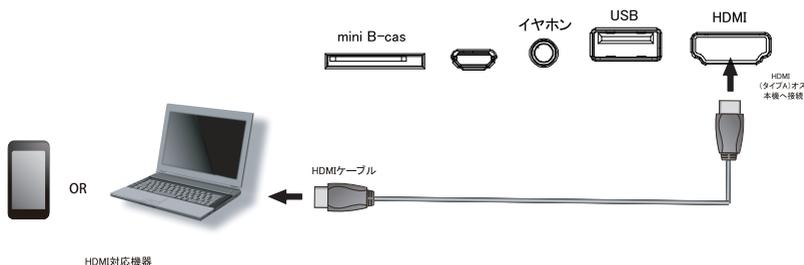


■ご注意ください

- ・お使いになる前に音量を最小にし、徐々に好みの音量に調整してください。
また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。

HDMI機器を接続する

- ① 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンにて「HDMI」を選択し、決定ボタンを押します。
- ② 本機の左側面のHDMI入力に、他機のHDMI出力に接続することで、スマートフォンや他機器の映像と音声を再生することが可能です。



接続をする機器によりコネクタの形状が異なりますので接続する機器に合わせて、HDMIケーブルや変換アダプタを準備してください。

■ご注意下さい

- ・表示される画面や音声は接続される機器やアダプタの動作や性能に依存します。
- ・2K、4K、3D等の再生には対応していません。
- ・PC等のHDMI出力を接続してサブモニターとして、使用することが可能です。
その場合、設定をPC側で行ってください。(拡張設定や複製設定等)
- ・また接続する機器により表示できない場合があります。

主な仕様

商 品 名	10インチテレビ搭載ポータブル電源	
バッテリー容量	60,000mAh(222Wh) ※リチウムイオンバッテリー	
防塵防水規格	IP44規格	
許容動作温度	0°C～40°C ※放電は-10°Cまで	
外部電源接続端子	充電用USB端子(TYPE A 充電電流出力用 2系統 *最大合計4.2A) DC電源入力/出力コネクタ(Type-C PD 18W) AC出力(AC100V/50Hz) ※出力最大150W	
連続使用時間 ^{※1}	TV視聴:約30時間、FMラジオ聴取:約120時間、LEDライト:約72時間	
充電時間 ^{※1}	約10時間 ※バッテリー残量0%から満充電まで	
ライト点灯	3W	
電源定格	DC12V/3.0A 入力範囲(DC10V～22V)	専用ACアダプタ AC100V 50/60Hz
パネルサイズ	10.1インチ ワイド	
液晶解像度	1024×600ピクセル	
TV受信チャンネル	地上デジタル放送(ワンセグ放送対応) (UHF13～62ch)	
映像信号方式	ISDB-T	
アンテナ入力	1系統(本体アンテナ又は地上波デジタル用ロッドアンテナ) ※設定にてアンテナ切替	
F M受信周波数	76～95MHz(0.1MHzステップ) ※ワイドFM対応	
H D M I入力	1系統(Type-A)	
イヤホン出力	1系統(ミニジャック)	
USB端子	1スロット(Type-A)	
再生可能データ	MPEG4/MP3/JPEG ※その他の詳細はP.24～26参照	
外形寸法	320(W)×261(H)×196(D)mm(ハンドル等の突起物を除く)	
本体質量	約5.5Kg(バッテリー含む)	
リモコン	専用リモコン「RC-PSTV600」使用	

※1 連続使用時間および充電時間は、状況、環境により異なります。また、充電電池の経年劣化により、使用時間が短くなります。仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

長年ご使用の製品点検を		
このような事は ありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ・その他の異常・故障がある。 	ご使用を 中止 ・故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、弊社サポートセンター又は販売店にご相談ください。

●自己診断機能について

本機には自己診断機能があります。使用中に自己診断機能がはたらき警告やエラーが発生しましたら、下記の内容にてご確認と対応をしてください。不明点がある場合やその他の事象が発生したときは、弊社サポートセンター又は販売店へご相談ください。

①温度ランプ(オレンジ色)

本体内部の温度が高温になると、温度ランプ(オレンジ色)が点灯、表示画面にエラーコード" C3 "が表示され、ファンが回転します。異常ではありませんが、使用状況、環境温度とAC駆動負荷を確認してください。

②アラームランプ(赤色)

AC出力に問題が発生したら、アラームランプ(赤色)を点灯、表示画面にエラーコード" C1 "が表示されます。AC出力に接続されている機器の状況を確認してください。

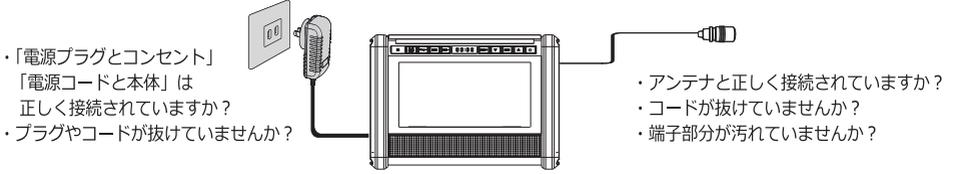
エラーコード	内容	対応方法
C1	AC出力に異常	AC電源部に接続された機器を全て外し、再確認してください。
C2	低温異常	適温な温度環境に移動し、再確認してください。
C3	高温異常	適温な温度環境に移動し、再確認してください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではない場合があります。修理・検査のご依頼前にもう一度ご確認ください。

【まずご確認ください】

「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合は、まず電源およびアンテナの接続を確認してください。



こんな場合は...		こちらをご確認ください
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグ⇄コンセント/電源コード⇄本機が抜けていませんか？ 主電源スイッチは正しく設定されていますか？ 充電は正しくされていますか？
リモコン	リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの乾電池が消耗していませんか？ (付属の電池は試供品につき、早めに新しい電池と交換してください) 乾電池のプラス/マイナスが逆になっていませんか？ リモコンをテレビ側リモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ リモコンと本体の間に遮断物はありませんか？
	CH+/-ボタンで特定のチャンネルが選局できない	<ul style="list-style-type: none"> チャンネル登録は正常にできていますか？ →アンテナとの接続やアンテナの設定などをご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。 <p>※CATVやマンションの共聴システムをご利用の際はパススルー方式での受信に対応しているかご確認ください。</p>
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線が外れていませんか？ 入力先など間違っていないですか？ 外部機器との接続ケーブルが外れていませんか？
	映像は出るが、音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 消音状態になっていませんか？音量が0になっていませんか？ イヤホン端子にイヤホンなどを接続していませんか？
	音声中に異音が入る映像にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用していないですか？ →無線機器類は本機と離してご使用ください。 受信電波信号が弱い状態ではありませんか？ AC出力やスマホ充電を停止することによりTV/FMの受信状態が良くなる場合があります。
	映像が悪い	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブル(元側/本機側)が外れていませんか？ アンテナケーブルの断線などはありますか？ 設置されているアンテナの向きがずれていませんか？故障していませんか？ 近所で落雷や電波障害などは起きていませんか？ 1本のアンテナ線を複数のテレビやチューナーなどに接続していませんか？ 本機の近くで電磁波が発生する電気製品を使用していませんか？ 映像調整は正しく設定されていますか？ 受信チャンネルは正しく設定されていますか？ →地域が変わった場合は、放送帯が変わりますので再度設定が必要です。
	B-CASカードに関するメッセージが出る。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ →miniB-CASカードを正しく挿入しないと、フルセグ放送は視聴できません。
	設置場所を変えたら(引越し等)視聴できなくなった...など	<ul style="list-style-type: none"> 本機の設置場所を他のエリアに移動させた場合、改めて受信チャンネルを設定しなおす必要があります。チャンネルスキャンを再度実施して、正しくチャンネル設定を行ってください。

こんな場合は...		こちらをご確認ください
FMを聴いている時	選局/受信が出来ない	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の中や高い建物の近くで、電波が弱くなっていませんか？ ドアや電波を遮断する物はありませんか？ →選局中や聴取中に、雑音や電波の強さの影響があるので、なるべく障害物がない環境で電気器具を離して使用することを推奨します。 ・AC出力やスマホ充電を停止することにより、FMの受信状況が良くなります。受信状況と合わせてご確認ください。
充電や使用時間	充電時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ等に充電していませんか？ ・TV等のMediaを使用していませんか？
	給電できない 電源として使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルや端子の接続はしっかり出来ていますか？ →お使いの機器が推奨するケーブルを使用してください。 ・本体は十分に充電されていますか？ ・お使いの機器が最大ワット数を超えていませんか？下記、参照にしてください。
	使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーの寿命が考えられます。サポートセンターに問い合わせください。 ・本体は十分に充電されていますか？
その他	外部メモリのデータが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機と接続した録画用メモリのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ファイル形式「FAT32」 ・保存されているデータが壊れていませんか？ ・外部データのファイル形式が本機に対応した形式で保存されていますか？ →拡張子(.jpg)など ※外部メディアについての動作保証およびサポートは行っておりません。
	本体機器の温度上昇	<ul style="list-style-type: none"> ・温度ランプが点灯している時は、本体内部の温度が上昇していますので、一定時間たってから使用してください。また周囲温度が常温に近い環境にてご使用ください。 ・"C3"のエラーコードが表示された場合、本体内部がかなり熱くなっているため、直ちにご使用を中止してください。一定時間たってから使用してください。

■ACコンセントに接続してご使用になれる機器(150W以下)の目安

ACコンセントは最大150W 2口合計となります。接続する機器は、合計150W以下になるように接続してください。以下、目安となる消費電力です。

種類	消費電力	種類	消費電力
保冷温庫	40～60W	携帯ゲーム機	10～15W
ビデオカメラ	20～30W	携帯電話	15～25W
デジタルカメラ	20～30W	電気シェーバ	10～15W
モバイルパソコン	60～80W	照明機器	20～40W

※AC出力部には、①出力短絡保護回路、②オーバーロード保護回路、③異常温度保護回路が搭載されています。

■ご注意ください

- ・AC部に問題がある場合表示画面に“C1”のエラーコードと、内容によってはアラームランプが点灯します。P.29のエラーコード表を参照してください。
- ・接続する機器の負荷電流状況によりバッテリー低容量時にはAC出力が出来ない場合があります。バッテリーの容量が少なくなってきましたら、充電してください。目安としては、50%以上でご使用をお奨めします。
- ・本体内部の温度調整の為、内蔵FANが作動する場合があります。

お手入れについて

●本体のお手入れ方法

柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5～6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装がはげる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品の廃棄について

- 製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等 各自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

【保証期間について】

- ◆ 下記保証範囲に基づき、保証書に記載されている期間の保証とさせていただきます。
- ◆ 保証期間が過ぎたものは、有料修理となります。
- ◆ 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- ◆ 補修用性能部品保有年数の目安は、製造終了から5年です。但し、保守部品の在庫状況により、修理ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ 保証期間内でも、次のような場合は、有料修理となります。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書の所定事項(お客様名、ご購入店名等)のみ記入、または字句を書き換えられた場合。
 - (3) 火災、自然災害(地震、水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天変地異等)、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4) お買い上げの後の輸送、移動時の落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷。
 - (5) 水、泥、砂などのかぶり原因で発生した故障および損傷。
 - (6) お取り扱い上の不注意、誤用、接続している他の機器に起因して発生した故障および損傷。
 - (7) 保管上の不備(高温多湿の場所など)や手入れの不備による故障。
 - (8) 不当な改造、調整、部品交換、誤接続による故障および損傷。
 - (9) その他、弊社の判断において、有料修理と認められる場合。

【保証範囲について】

本保証書は、日本国内において有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- ◆ なお次の事項に該当するものは、保証の責任を負わないものとします。
 - (1) 本製品の使用により発生した、本製品以外のお客様の財産等の損失、破損。
 - (2) 本製品を使用したことによって発生した、あらゆる結果やその他への影響、異常。
 - (3) お客様の改造による故障。
 - (4) 個別の記録メディアに対する相性問題、動作不良等。

ダイニチ電子株式会社

リチウムイオンバッテリー内蔵製品の利用方法

 **ACアダプタを製品に接続したままの状態で使用しないでください。**

常時 AC アダプタを製品に接続したままの状態ではバッテリーの充放電が繰り返され、過充電の状態となる恐れがあります。

ACアダプタを接続した状態で長期間にわたる連続使用は過負荷による事故の原因となり、**火災や感電の危険があります。**

 **バッテリー残量が空の状態でも保管しないでください。**

リチウムイオンバッテリーを長時間にわたって使用しないなど バッテリー残量が空の状態でも保管すると、バッテリーからの自然放電が続くことにより過放電状態になる恐れがあります。

ご購入後は一旦満充電にして、長期間ご使用にならない場合でも一年に一度は充電してください。

 **過充電や過放電はバッテリーの劣化を早めます。**

通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、

それが長期間にわたって繰り返されることにより劣化が促進されてしまいます。

劣化により充放電量が少なくなったバッテリーは利用時間が短くなるなど性能が低下してしまい、時にはバッテリーとして機能しなくなる場合もあります。また、劣化などにより状態が不安定になったバッテリーは内部の電解液が気化し不具合を引き起こす原因となる場合があります。

◆ バッテリーの取り扱いについて。

- ・ ご使用の製品にバッテリー不具合が確認されたら、AC アダプタなどの電源を外し電源スイッチをオフにしてすぐにご使用を中止してください。
- ・ 危険ですので製品からバッテリーを取り外さないでください。
- ・ 直射日光や熱器具などで温度が高くなる場所や火気には近づけないでください。
- ・ 処分する場合は小型家電リサイクル法により、各自治体によって取り扱いが異なります。お住いの自治体の指示に従ってください。